

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月14日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	甲府市	代表者名	市長 樋口雄一
担当者部署	行政経営部デジタル推進課	連絡先電話番号	055-237-5214
担当者役職	係長	担当者氏名	古屋 金正
		連絡先E-mail	
住所	400-8585 山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	不慣れた職員が、データハンドリングの心得、基礎知識・技術を習得できるよう配慮されたものであった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年11月21日	支援・助言（実地）	有	令和4年10月27日	347
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年11月10日	支援・助言（実地）	13時00分	16時00分	15
				活動時間（分）	165
3-2.	会場名	甲府市役所防災会議室（4階）	最寄駅	甲府駅	
派遣場所	所在地	甲府市役所 甲府市丸の内1-18-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可 掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	甲府市職員（係長、主任、主事・技師）	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	本市では、令和3年2月に「甲府市デジタルソサエティ未来ビジョン」を策定し、そのアクションプランで、データ利活用を行うこととしている。しかし、基礎的な統計やデータ分析に関する興味を持ち学習意欲のある職員はいるが、それを学習し活用する機会はほとんどない状況にある。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	データハンドリングの心得、基礎知識・技術を習得できた。	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	データハンドリングの心得、基礎知識・技術を実習をとおして習得した。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修を受けた職員が、データ活用に取り組みようという意識と基礎知識・技術を習得できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	BIツール等の活用は、今後の課題と理解しており、研修を引き続き企画していく考えである。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	データ活用の基礎知識と実習経験のある職員を育成する。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



